

南牧村の指定重要文化財・天然記念物等一覧表

平成28年2月22日現在

	名称	種別	指定年月日	所在地／所有者等	
国指定	大日向の火とぼし	選択無形民俗文化財	平18. 3. 15	大日向 ／大日向区	8月14日・15日の両日の夜、盆の行事として大日向区で行われる県内に残る最大級の火祭り
〃	南牧村の山村生産用具	登録有形民俗文化財	平24. 3. 8	羽沢93 ／南牧村	昭和40年代まで使用されてきた伝統的な山村の生活を伝える山村生産用具である。1, 031点収集している。
県指定	黒瀧山の杉	天然記念物	昭27. 11. 11	大塩沢甲1266 ／黒瀧山不動寺	岩山という厳しい環境の中に成育する樹齢数百年の大木
〃	大日向の火とぼし	重要（無形）民俗文化財	平4. 5. 15	大日向 ／大日向区	8月14日・15日の両日の夜、盆の行事として大日向区で行われる県内に残る最大級の火祭り
〃	絹本著色七師七友図	重要文化財（美術工芸品等）	平11. 4. 30	大塩沢甲1266 ／黒瀧山不動寺	貞享2年（1685年）潮音道海禪師が作成、ここに描かれる七師とは、日、月、星、山、水、巖そして潮音。七友は松、竹、梅、蘭、菊、蓮に潮音を加えたもの。神、仏、儒が一体となった潮音の思想
〃	蟬の渓谷	天然記念物及び名勝	平20. 3. 27	南牧川流域 ／群馬県	両側の岩山が急激に迫る渓谷、清流と樹林がよく調和している景勝地。
〃	線ヶ滝	天然記念物及び名勝	平20. 3. 27	星尾川流域 ／南牧村	星尾川の流れを切ってほぼ東西に走る断層線にそって形成された断崖にかかる滝。滝の落差は約30m
村指定	砥山絵図面2枚付砥切道具一式	重要文化財（美術工芸品等）	昭53. 7. 18	民俗資料館、自然史博物館 保存／南牧村	文化年間に作成された砥石山探掘現場の説明図と砥切道具一式
〃	黒瀧山不動寺	史跡	昭53. 7. 18	大塩沢甲1266 ／長岡良園	延宝3年（1675年）潮音道海禪師が開山、黄檗宗黒瀧派の本山
〃	星尾の人形	重要（有形）民俗文化財	昭53. 7. 18	民俗資料館保存 ／星尾部落	衣裳51点、カシラ41点、面2面、カシラは製作された当時のままで、古い江戸系カシラの典型的なもの
〃	大仁田神社の杉	天然記念物	昭53. 7. 18	大仁田字小山沢1668 ／大仁田神社	天正10年、市川別当次郎直方が甲斐国より大仁田へ転居した折に熊野神社を祀り、その際植樹した杉の1本。樹齢約400年
〃	蟬の淵付芭蕉塚	名勝	昭53. 7. 18	砥沢字赤岩・笹原・甲斐無・河川帯／群馬県	両側の岩山が急激に迫る渓谷、清流と樹林がよく調和している景勝地。渓谷にのぞんで芭蕉の句が紅葉石にきざんである。
〃	線ヶ滝	名勝	昭53. 7. 18	星尾字線野上河川一帯 ／群馬県	星尾川の流れを切ってほぼ東西に走る断層線にそって形成された断崖にかかる滝。滝の落差は約30m
〃	天之岩戸神楽綺羅と面	重要（有形）民俗文化財	昭59. 3. 19	桧沢647 ／工藤武久	農耕神鹿屋野比売命を祭神とした岩戸神楽の衣服
〃	石造双体道祖神	重要（有形）民俗文化財	昭59. 3. 19	小沢999 ／今井誠	寛文11年（1671）に建立された村内で最も古い年号を持つ双体道祖神
〃	桧沢神社本殿棟札5枚付	重要文化財（建造物）	昭59. 12. 17	桧沢651 ／桧沢神社宮司	三間社流造の本殿、享保7年（1722年）に建造と推定される。
〃	石壁書天女窟	史跡	平元. 11. 30	小沢乙1738-1 ／関弘芳	江戸時代の書家、東江源鱗による石壁書「天女窟」小沢の「弁天様」の背後の石壁に刻されている
〃	砥山関係文書一括	重要文化財（美術工芸品等）	平16. 2. 24	砥沢346 ／浅川礼太郎	上野御蔵砥に関する古文書一括（冊子18点、状物41点、計59点）
〃	市川五郎兵衛の墓碑	史跡	平16. 2. 24	羽沢甲74 ／市川恒世	石柱の正面に歸元巖鉄圓心大徳靈位、左側面に市河五郎兵衛真親、右側面に寛文五歳己九月九日と印字されている。
〃	西方寺跡正長二年銘宝篋印塔付応仁銘宝塔	史跡	平16. 2. 24	大塩沢156 ／中泉玄洋	正長二年（一四二九）と宝塔に年号や戒名が刻されており、この年代における石塔の形を知る貴重なものである。
〃	星尾風穴	史跡	平27. 7. 28	星尾430-2／南牧村	蚕種を保存した室の屋根はなく、四方が幾分落下しているが、ほぼ原形を保持している。
ぐんま 絹遺産	南牧の養蚕・繰糸・機織用具	登録有形民俗文化財	平24. 11. 13	羽沢93 ／南牧村	絹産業の発展に貢献した養蚕・繰糸・機織用具類である。329点収集している。国の登録有形文化財にも指定されている。
〃	星尾風穴	史跡	平28. 2. 22	星尾430-2／南牧村	蚕種を保存した室の屋根はなく、四方が幾分落下しているが、ほぼ原形を保持している。